

2017年度 通期 決算説明

— 2017年1月～12月 —

2018年2月14日

株式会社 **CAC Holdings**

- I . 2017年度決算概況
- II . 2018年度業績予想
- III . 中期経営戦略(Determination 21)概要

I . 2017年度決算概況

連結業績概要（前期比）

単位：百万円

	2016年度 通期	2017年度 通期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	52,521	53,268	+747	+1.4%
売上総利益	10,479	10,272	▲207	▲2.0%
（対売上比）	20.0%	19.3%	▲0.7pt	
販管費	9,277	9,573	+295	+3.2%
営業利益	1,202	698	▲503	▲41.9%
（対売上比）	2.3%	1.3%	▲1.0pt	
経常利益	937	717	▲219	▲23.4%
（対売上比）	1.8%	1.3%	▲0.4pt	
特別利益	3,701	2,949	▲751	▲20.3%
特別損失	693	1,545	+852	+122.9%
当期純利益	2,039	1,100	▲938	▲46.0%
（対売上比）	3.9%	2.1%	▲1.8pt	

- ・売上高は昨年比横ばい
- ・営業利益は、海外子会社の営業損失、国内ITの利益率低下等により大幅減
- ・特別利益は投資有価証券売却益が減少、特別損失は減損損失が増加

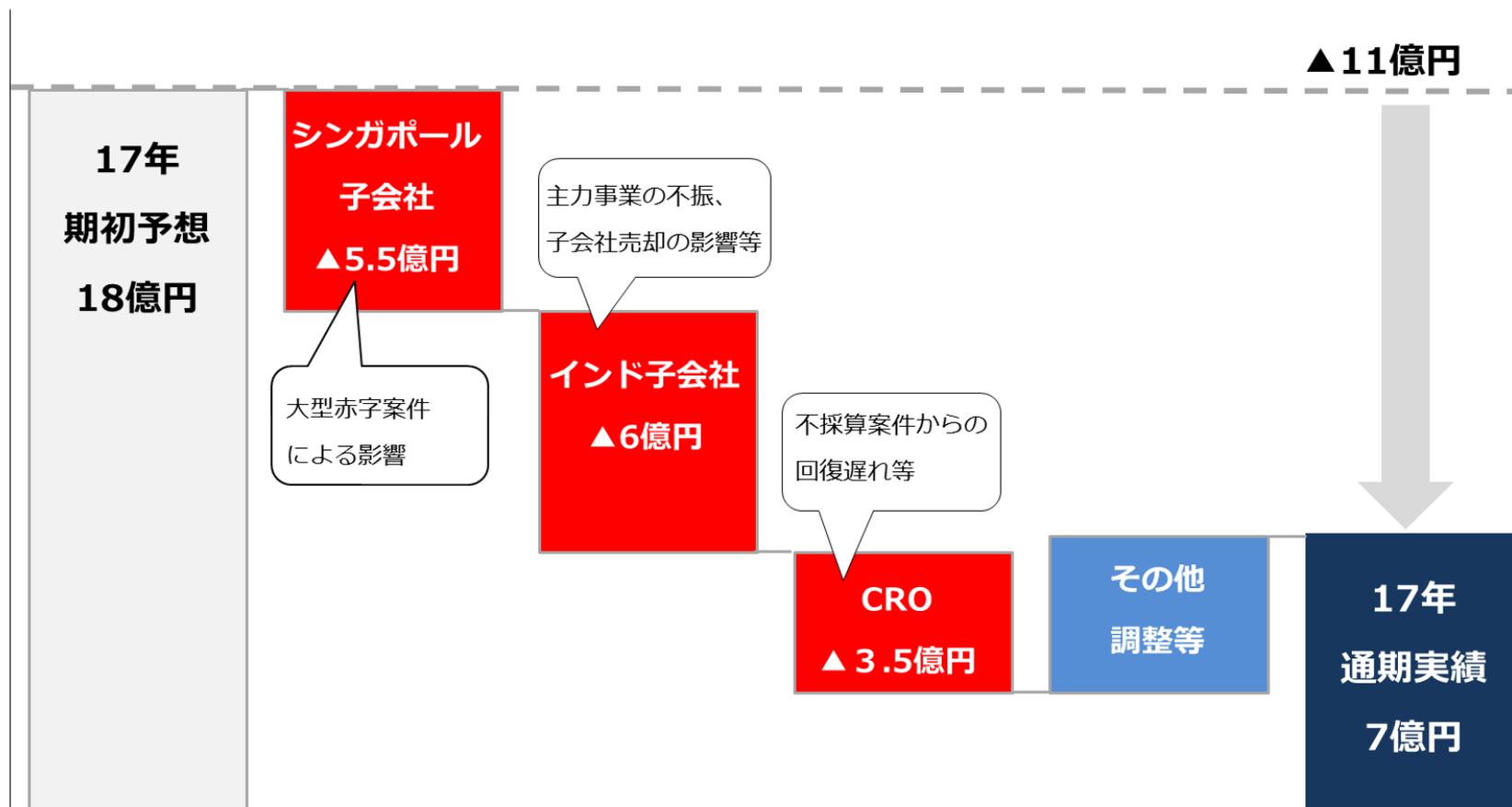
通期業績予想比較

単位：百万円

	2017年 修正予想 (11/10修正)	2017年 実績	修正後 差額	達成率	2017年 期初予想	修正前差額
	売上高	53,000	53,268	+268	+100.5%	54,000
営業利益	600	698	+98	+116.4%	1,800	▲1,102
(対売上比)	1.1%	1.3%			3.3%	
経常利益	540	717	+177	+133.0%	1,500	▲783
(対売上比)	1.0%	1.3%			2.8%	
当期純利益	1,100	1,100	+0	+100.0%	1,100	+0
(対売上比)	2.1%	2.1%			2.0%	

※当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益

営業利益 期初予想差異



売上高と営業利益分布状況

海外IT

売上： 117 億 (+4.7億)
利益： ▲5.3億 (▲4.4億)

国内IT (CAC含む)

売上： 303億 (▲1.5億)
利益： 8.6億 (▲2.2億)

CAC

CRO

売上： 112 億 (+4.3億)
利益： 3.6 億 (+1.6億)

グループ全体

売上： 532 億 (+7.4億)
利益： 6.9億 (▲5.0億)

※ カッコ内は前期比
利益は営業利益

サービス別売上高・営業利益（連結）

売上高

単位：百万円

	2016年度		2017年度		前年同期比	
	金額	通期 構成比	金額	通期 構成比	金額	増減率
構築	22,764	43.3%	22,060	41.4%	▲703	▲3.1%
運用管理	17,950	34.2%	18,879	35.4%	+928	+5.2%
BPO/BTO	11,807	22.5%	12,328	23.2%	+521	+4.4%
合計	52,521	100.0%	53,268	100.0%	+747	+1.4%

営業利益

	2016年度		2017年度		前年同期比	
	金額	通期 利益率	金額	通期 利益率	金額	増減率
構築	545	2.4%	▲22	—	▲568	—
運用管理	279	1.6%	372	2.0%	+92	+33.3%
BPO/BTO	377	3.2%	348	2.8%	▲28	▲7.5%
合計	1,202	2.3%	698	1.3%	▲503	▲41.9%

業種別売上高（連結）

単位：百万円

	2016年度通期		2017年度通期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
金融	7,224	13.8%	7,253	13.6%	+28	+0.4%
信託	4,237	8.1%	4,060	7.6%	▲176	▲4.2%
医薬	17,067	32.5%	16,268	30.5%	▲799	▲4.7%
食品	3,853	7.3%	3,105	5.8%	▲748	▲19.4%
製造	3,096	5.9%	3,360	6.3%	+263	+8.5%
サービス他	17,042	32.4%	19,221	36.2%	+2,179	+12.8%
合計	52,521	100.0%	53,268	100.0%	+747	+1.4%

受注高・受注残高状況（連結）

受注高

単位：百万円

	2016年度	2017年度	前年同期比	
	通期	通期	金額	増減率
構 築	22,017	20,884	▲1,132	▲ 5.1%
運用管理	17,739	18,686	+947	+5.3%
BPO・BTO	11,171	12,576	+1,404	+12.6%
金融	6,697	7,037	+339	+5.1%
信託	4,352	3,912	▲439	▲ 10.1%
医薬	15,179	16,513	+1,334	+8.8%
食品	3,411	2,909	▲501	▲ 14.7%
製造	3,249	3,301	+52	+1.6%
サービス他	18,038	18,472	+434	+2.4%
合 計	50,928	52,147	+1,219	+2.4%
受注残高	16,907	15,786	▲1,120	▲ 6.6%

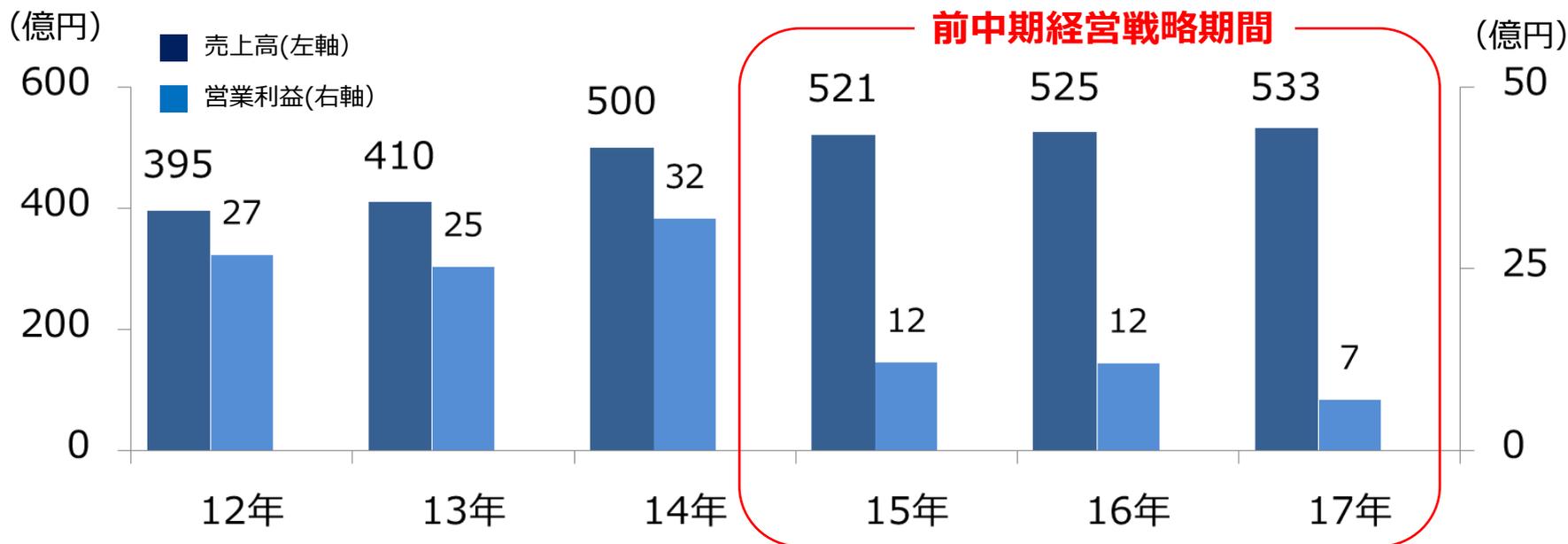
連結貸借対照表 (B/S)

単位：百万円

	2016年 12月末	2017年 12月末	増減	主な増減要因
流動資産	26,468	24,084	▲2,383	現金預金の減少
固定資産	23,876	30,041	+6,165	
有形固定資産	1,731	1,392	▲338	
無形固定資産	4,736	3,871	▲864	のれんの減少
投資その他の資産	17,408	24,777	+7,369	投資有価証券の増加
資産合計	50,344	54,125	+3,781	
負債	22,661	21,696	▲964	
流動負債	13,218	11,120	▲2,098	買掛金、短期借入金の減少
固定負債	9,442	10,576	+1,133	長期繰延税金(貸方)の増加
純資産	27,683	32,429	+4,745	その他有価証券評価差額金の増加
負債純資産合計	50,344	54,125	+3,781	

Ⅱ. 2018年度業績予想

前中期経営戦略の振り返り



■ 利益低迷の要因 ⇨ 注力分野（海外、CRO）の業績低迷

2015年~16年	海外事業 CRO事業	インド子会社での回収懸念債権の貸倒処理 モニタリング案件の失注による、余剰人員発生
2017年	海外事業 CRO事業	シンガポール子会社での大型案件の失敗 インド子会社開発事業の不振等 大型案件の不採算化

2018年度業績予想

単位：百万円

	2017年 実績	2018年 通期予想	前年比
売上高	53,268	54,000	+1.4%
営業利益	698	1,600	+129.1%
(対売上比)	1.3%	3.0%	
経常利益	717	1,500	+108.9%
(対売上比)	1.3%	2.8%	
当期純利益	1,100	1,100	▲ 0.0%
(対売上比)	2.1%	2.0%	
配当	36円	38円	+2円

※ 2017年度下期配当（18円）および、2018年度配当は予定

業績回復のポイント



国内IT事業

- ・新デジタルシフトに伴う受注機会の増加
- ・プロジェクト管理の強化



海外IT事業

- ・不採算事業の切り離し
- ・現地需要の獲得



CRO事業

- ・徹底的なコスト削減
- ・低採算案件の解消



新規事業

- ・中期経営戦略に基づく投資

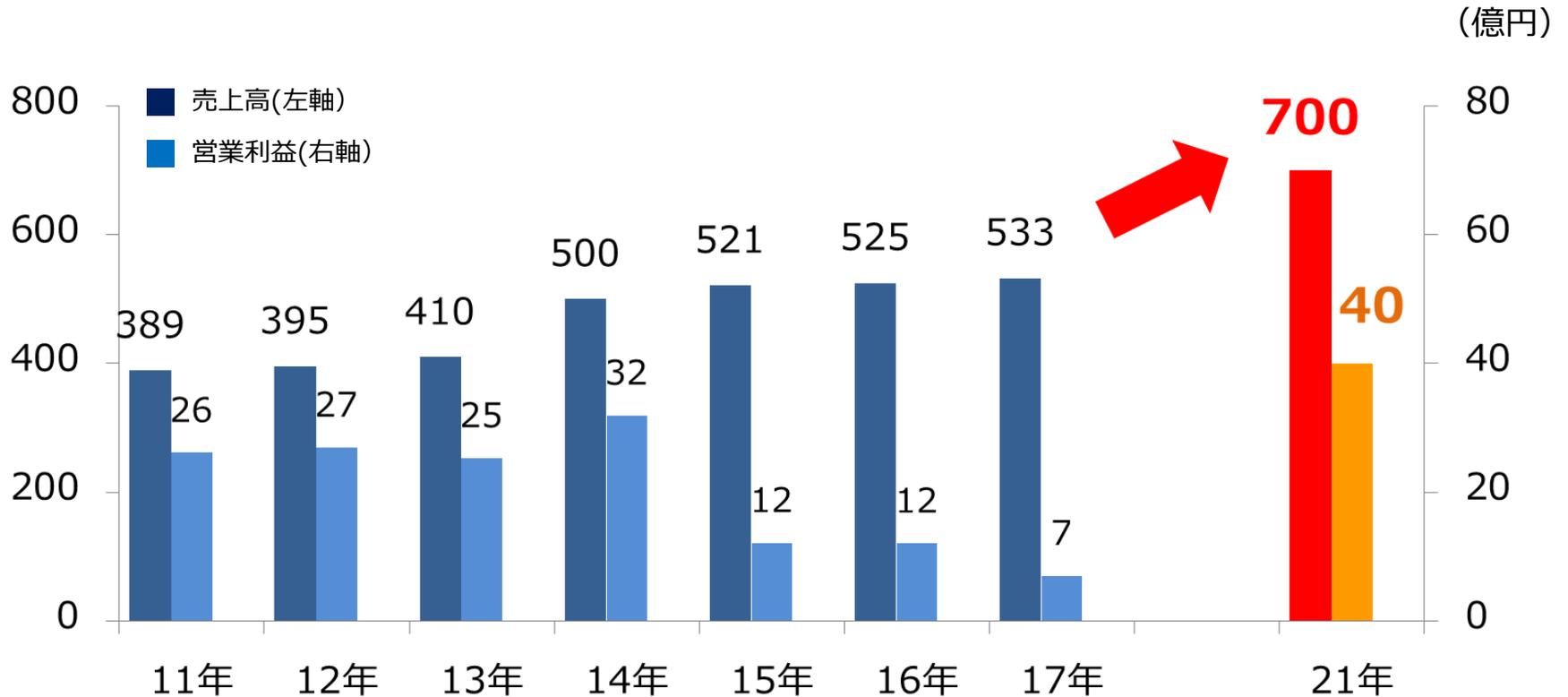
Ⅲ. 中期経営戦略(Determination 21)概要

課題認識

- ・ デジタルトランスフォーメーションの急速な拡大、浸透
- ・ ボーダレスかつシームレスなグローバル市場形成
- ・ 旧来型SIer・アウトソーサーは、淘汰される可能性大

この大きな変化に対応できる
企業グループに変貌することを目標

2021年度：売上高 700億円
営業利益 40億円



既存事業

売上高 500億円
営業利益 25億円

新規事業

売上高 200億円
営業利益 15億円

国内IT事業

- ・新デジタルシフト
- ・リバースイノベーション
- ・営業地域拡大

海外IT事業

- ・インド・中国への
フォーカス
- ・事業再編

CRO事業

- ・周辺事業の拡大
- ・インド・中国本格稼働
- ・コスト削減施策継続

事業共通

- ・各施策の基盤として、日・中・印R&Dセンター開設によるデジタルテクノロジーのキャッチアップやフォロー
- ・投資事業のグループ展開、拡大

2021年度 売上高500億円、営業利益25億円を目指す

成長が見込まれる企業への出資、M&A

新デジタル

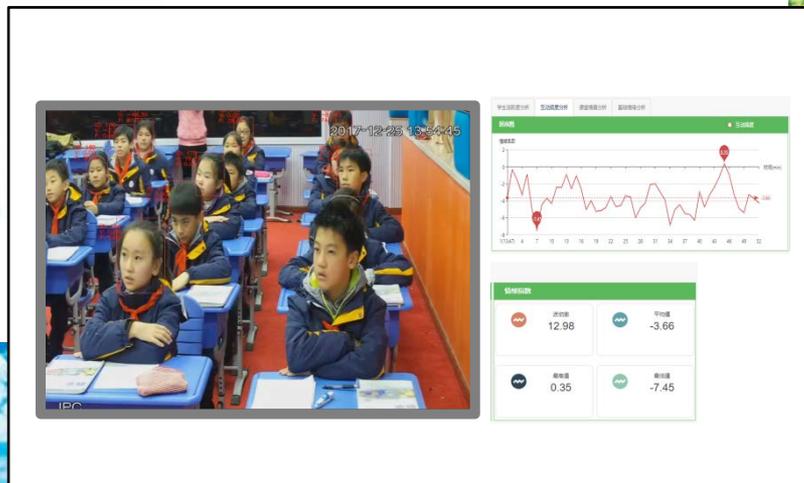
介護
農業
インバウンド

アジア

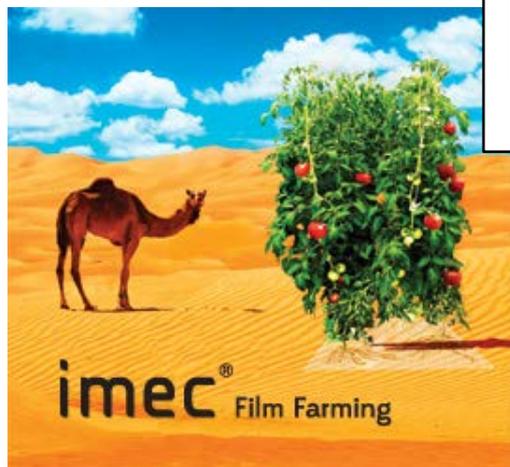


2021年度 売上高200億円、営業利益15億円を目指す

医療ツーリズム



インバウンド系サービス

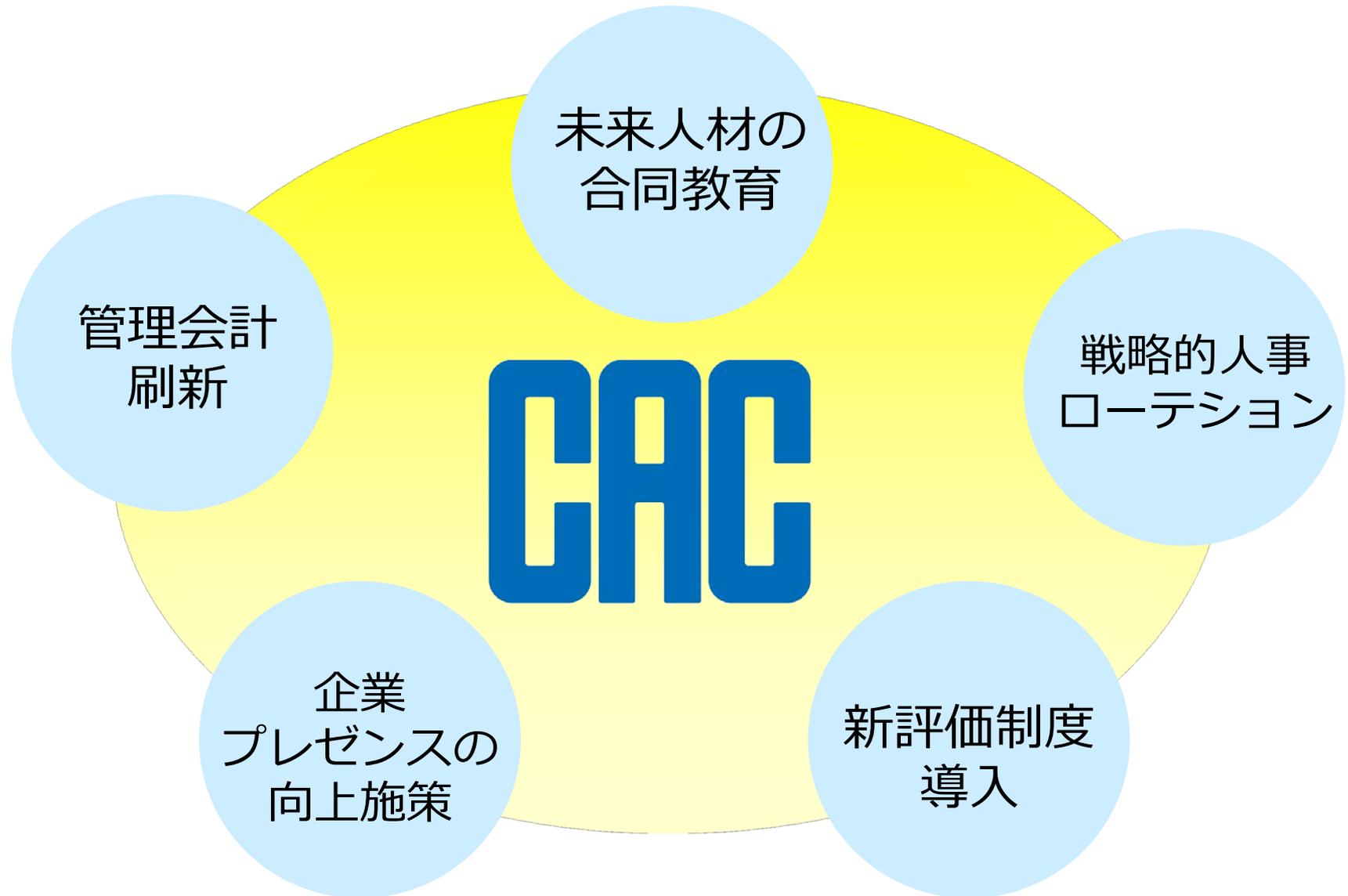


フィルム農法

感情認識AI



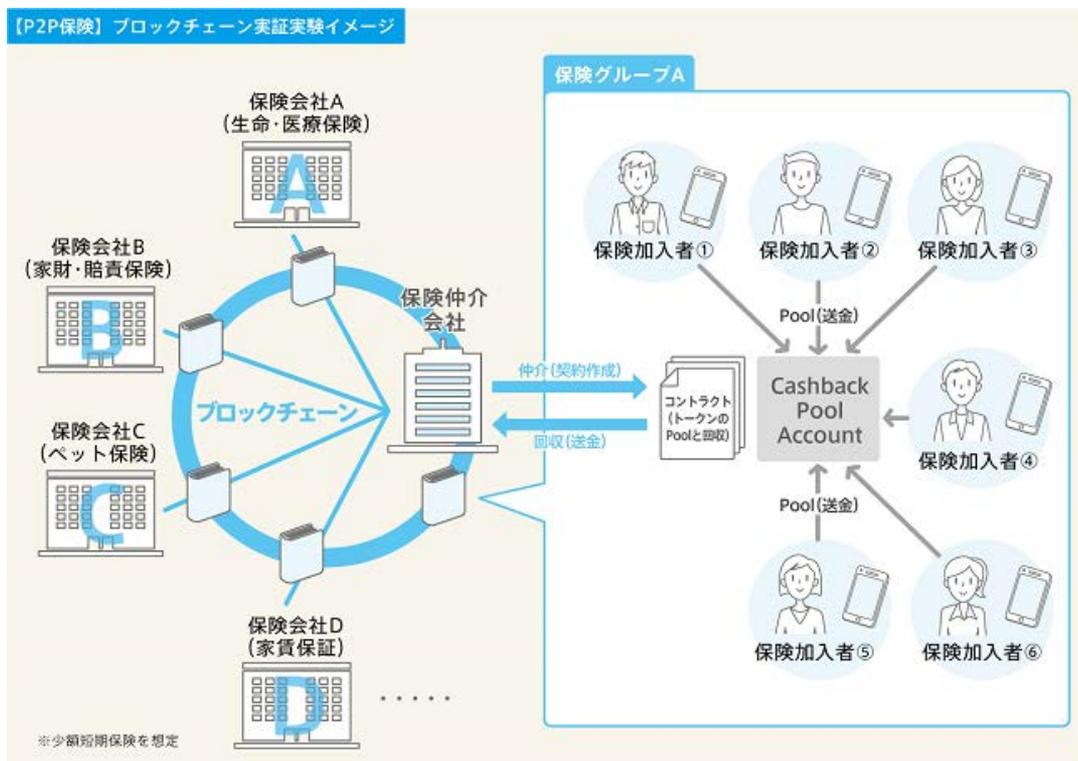
Jibo



Apx. 2017年度下期の取組みと 主要ニュース

ブロックチェーン活用サービス開始

- ・ 凸版印刷と協業。
- ・ ブロックチェーンとAI、IoTを組み合わせた実証実験サービスを開始。
- ・ 金融機関のみならず他業種へも展開。

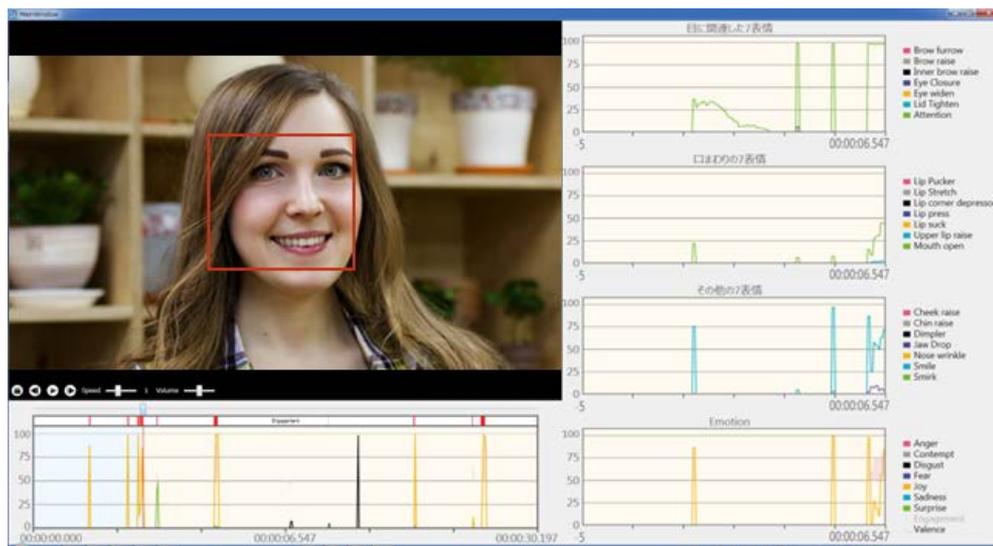


P2P保険とは：
同じ種類の保険の加入者同士を繋いで保険リスクをシェアし合うグループ保険の一種。

新技術・新事業領域の獲得

感情認識AI： 動画分析サービス「心sensor」提供開始

- ・ 動画に映る人の表情を感情認識AIで解析し、読み取った感情を数値データ化できる動画分析サービス。
- ・ 各種リサーチや商品開発、顧客満足度調査等への活用を見込む。



国内企業向けCVCファンド組成



- ・自ら運用する単独のコーポレート・ベンチャーキャピタルファンドを組成。運用総額は30億円（上限）を予定。
- ・将来の社会ニーズを捉えたサービスや、異なるビジネスモデルを持つ国内企業へ出資することで、中長期のグループ成長に資する新規事業の創出を図る。

グローバル協業体制の強化

日本とインドの協働による ADAS（先進運転支援システム）分野参入

- ・ インドでのADAS実績があるAFLとCACが協働、日本のADAS案件を開拓
- ・ 今後は技術者を増やし、ビジネス拡大へ



CSR活動

障がい者スポーツ

ボッチャの普及・支援活動

- ・ 社会貢献の一環として、2016年よりボッチャを支援。
- ・ CACカップ 学生ボッチャ交流戦を初開催。
- ・ ボッチャ用具の寄贈プロジェクトを実施。14団体へ寄贈。
- ・ 昨年に続き「東京都スポーツ推進企業」に認定されたほか、スポーツ庁実施の「スポーツエールカンパニー」にも認定。



下期主要ニュース(1/2)

2017/7/18	<p>Startup World Cup 2018に投資賞金5,000万円の「CAC特別賞」を設置 ～日本予選ファイナリストの中から1社を選定～</p> <p>CAC Holdingsは国内のスタートアップエコシステムの活性化およびイノベーション促進を目的として、Startup World Cup2018の日本予選において「CAC特別賞」を設置。「CAC特別賞」にはファイナリストに選出された10社の中から、安全で高栄養価の農産物を生産するフィルム農法を開発するメビオール株式会社を選び、投資賞金5,000万円と、2018年にシリコンバレーで開催される決勝戦への滞在費および航空券を進呈した。</p>
2017/8/29	<p>CAC、介護事業者に特化した健康経営支援ソリューション「C-Wells」の提供を開始</p> <p>シーエーシーは介護業界企業の健康経営支援ソリューション「C-Wells」の第一弾として、健康経営アセスメントの提供を開始した。介護業界の特徴を考慮したアセスメントを従業員が回答し、現場の声から組織の健康経営の状況把握と改善ポイントを発見するサービス。当サービスの提供を通じて、介護業界の生産性向上や離職率の低下、企業収益の向上に貢献し、健全な業界の発展に寄与することを目的としている。</p>

下期主要ニュース(2/2)

2017/9/30	<p>CACグループが障がい者スポーツボッチャの学生交流戦「CACカップ」を初開催</p> <p>2016年より社会貢献の一つとして実施している障がい者スポーツボッチャのさらなる普及・支援を目的に、学生交流戦「CACカップ」を有明スポーツセンターで開催。これまでの大会支援等で培った経験を礎に、CACグループ社員自らの手で企画・運営を行った。当日は、東京都内の特別支援学校7校より11チームが参加した。ボッチャの練習に励む学生たちが日頃の成果を発揮すると共に、競技を通してボッチャ技術やマナーの向上、生涯スポーツへの意識を高める機会となった。</p>
2017/10/17	<p>CACと凸版印刷、ブロックチェーンで協業 ブロックチェーンとAI、IoTを組み合わせ金融機関のデジタルトランスフォーメーション推進のためのPoC実施サポート体制を構築</p> <p>シーエーシーは凸版印刷株式会社と共同で、ブロックチェーンとAI、IoTを組み合わせたPoC（Proof of Concept（概念実証）の略。新製品や新サービスの開発、また大規模な商業プロジェクトなどにおいて、新たな理論や技術の実用化の可否を検証するために実施するもの）のサポート体制を構築。製品・サービスのデジタル改革実現を、コンサルティングからシステム開発、結果検証までトータルソリューションで支援するPoCサポートサービスを、金融機関向けに2017年11月から提供開始。</p>



株式会社 CAC Holdings

CACグループは、障がい者スポーツ「ボッチャ」の普及・発展をお手伝いしています



経営企画部 Enterprise Value Upグループ

TEL : 03-6667-8010 E-mail : prir@cac.co.jp

<https://www.cac-holdings.com/>